



2019年10月8日  
東日本旅客鉄道株式会社

## SDGs 達成に向けた JR 東日本グループの新たな取組みについて

- JR 東日本グループでは、ESG 経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、持続可能な開発目標（SDGs）※1の達成に取り組んでいます。
- 新たな取組みの一つとして、エキナカやホテルなどのグループ会社の直営店舗等で使用する「プラスチックの削減」に取り組めます。
- 石灰石を主原料とした素材で作った名刺に置き換えることで「紙の削減」に取り組めます。
- 外務省と国連広報センターの後援をいただき、「SDGs の理解促進」と「当社グループの SDGs 達成に向けた取組みのご紹介」を目的として、山手線において「SDGs ラッピングトレイン」を運行します。

※1 持続可能な開発目標（SDGs）・・・国連サミットで採択された 2016 年から 2030 年までの国際目標のことで、持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成されています。

### 【プラスチックの削減】



### 1. 取組み内容

(1) プラスチックレジ袋※2（2018 年度使用実績：2 億 4 千万枚程度）をバイオマス※3 素材などを使用したレジ袋へ置き換えます。

（本日以降準備が出来次第、2020 年 9 月 30 日までに置き換え完了予定）

※2 2020 年 4 月 1 日にレジ袋有料化予定。

※3 バイオマス・・・再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの（トウモロコシやサトウキビなど）。

(2) プラスチックストロー（2018 年度使用実績：3 千万本程度）を紙や生分解性※4 素材などを使用したストローへ置き換えます。

（本日以降準備が出来次第、2020 年 3 月 31 日までに置き換え完了予定）

※4 生分解性・・・木綿のように微生物の働きによって分解され、最終的には二酸化炭素と水までに分解される性質をもちます。

(3) お客様に対して、JR 東日本グループの取組みをご理解いただくとともに、プラスチック問題について広く知っていただきます。（ポスター、POP および動画）



ポスター（イメージ）

#### (4) その他

一部店舗等にてエコバック（50万個）を無料で配布予定です。（2020年4月）

## 2. 対象グループ会社（予定）

JR 東日本グループでお客さまにプラスチックレジ袋/ストロー（もしくは両方）を提供する 25 社（※テナントは含まず、直営店舗（子会社の直営店舗を含む）のみ。）

（株）鉄道会館、（株）アトレ、（株）ルミネ、（株）横浜ステーションビル、湘南ステーションビル（株）、（株）J R 中央ラインモール、ジェイアール東日本商業開発（株）、（株）錦糸町ステーションビル、（株）千葉ステーションビル、（株）J R 東日本青森商業開発、（株）トッキー、（株）ステーションビル M I D O R I、日本ホテル（株）、仙台ターミナルビル（株）、盛岡ターミナルビル（株）、秋田ステーションビル（株）、（株）J R 東日本リテールネット、（株）日本レストランエンタプライズ、ジェイアール東日本フードビジネス（株）、（株）紀ノ國屋、J R 東日本東北総合サービス（株）、（株）JR 東日本商事、J R 東日本スポーツ（株）、（株）ジェイアール東日本都市開発、（株）J R 東日本サービスクリエーション

※上記のほか、一部、JR 東日本グループ会社の子会社も取り組んでいます。

### 【紙の削減】



## 1. 取組み内容

(1) JR 東日本で使用する名刺を紙素材から LIMEX（ライメックス）<sup>※5</sup>を使用した素材に順次切り替えます。

（2019年度は JR 東日本本社で試行的に導入を予定し、2020年度以降順次導入予定）

<sup>※5</sup>LIMEX（ライメックス）・・・石灰石を主原料とし、原料に水や木材パルプを使用せず紙の代替や石油由来原料の使用量を抑えてプラスチックの代替となる新素材。開発・製造・販売する（株）TBM は、JR 東日本スタートアップ（株）と資本業務提携をしています。



新素材を用いた名刺（イメージ）

(2) 当社グループの「プラスチック削減」に向けた取組みをご理解いただくポスター、POP などの広告物を、LIMEX（ライメックス）を使用した素材<sup>※6</sup>で作成します。

(3) (2)で作成するポスター、POP について、掲示終了後に回収してアップサイクル<sup>※7</sup>します。

<sup>※6</sup>ポスターは一部紙素材のものもあり。

<sup>※7</sup>アップサイクル・・・使用済み製品を廃棄もしくは再利用するのではなく、価値を高めて再製品化を行うこと。

# 【SDGs ラッピングトレインの運行】

## 1. 運行期間

2019年10月18日～2020年1月末（予定）

## 2. 運行予定線区

山手線（E235系<sup>※8</sup>1編成）

※車両整備等のため運行しない日があります。

※<sup>8</sup>E235系・・・車両消費電力の抑制やLED照明の採用等環境性能を向上させた車両



SDGs ラッピングトレインのロゴ（イメージ）

※JR 東日本アプリで、SDGs ラッピングトレインの運行状況を配信する予定です。

（JR 東日本アプリ→列車走行位置→山手線（トレインネット））



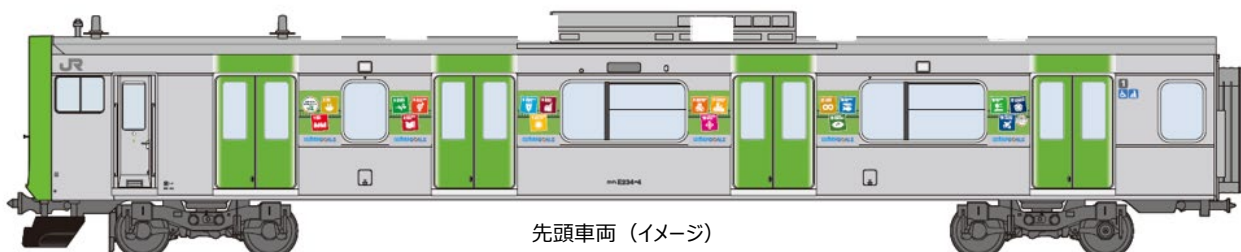
山手線（E235系）



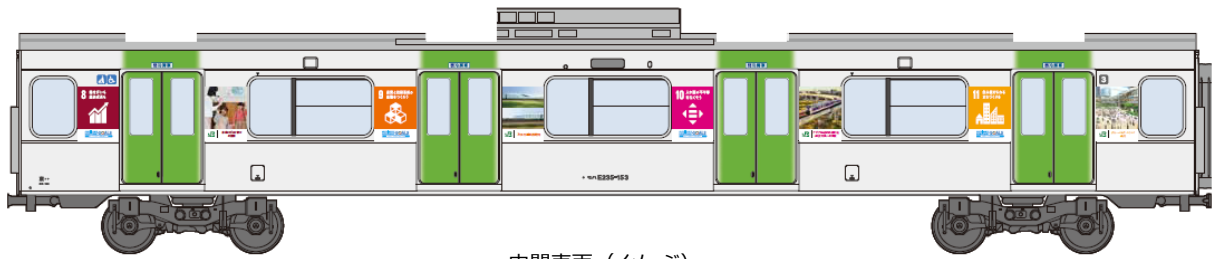
JR 東日本アプリでの運行位置（イメージ）

## 3. 車両のデザイン・特徴

- (1) 車体および車内の吊手に SDGs の 17 のゴールのアイコンを表示します。
- (2) SDGs 各ゴールの解説や、SDGs 達成に向けた当社グループの取組みを、ポスター、トレインチャンネルなどで紹介します。
- (3) SDGs17のゴールをイメージした座席を一部に設置します。
- (4) 一定の速度になると前面行先表示器(最後尾車両)に SDGs の文字を表示します。（E235系山手線車両において前面行先表示器(最後尾車両)に季節の花以外を表示するのは当社初の取組み）



先頭車両（イメージ）



中間車両 (イメージ)



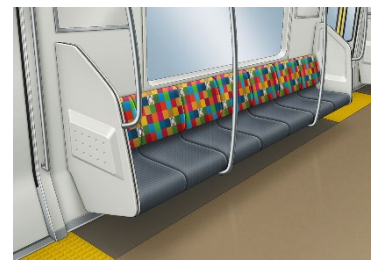
車内ポスター (イメージ)



前面行先表示器(最後尾車両)イメージ



車内吊手 (イメージ)



座席 (イメージ)

#### 4. 主催者等

- (1)主催 東日本旅客鉄道株式会社
- (2)後援 外務省・国連広報センター